

## 医療ソーシャルワーカーの紹介



H24年10月。鹿と2度衝突し、大幅に遅れた最終の特急電車に乗り、私は初めて釧路に足を踏み入れました。次の日、病院の会議室にて採用面接を受けました。当時の事務長を始め、看護部長、精神科診療部長、連携室主幹、病棟課長等、その時は分かりませんでしたが、今思えば錚々たるメンバーの面接官でした。緊張の中、面接を無事に終え、運よく採用され、H25年4月より医療連携相談室の一員として働かせて頂く事ができま

した。以前は札幌の精神科病院で精神保健福祉士として働いておりましたが、これまでとは環境も大きく異なり、求められる質も違うことに戸惑うことも多くありました。また、自分がまだまだ未熟で知識不足であったということを感じずにはありません。そんな日々の中で上司や先輩から色々指導していただきながら、また患者さんからも色々な事を教えて頂きながら一日一日、貴重な経験をさせて頂いております。

精神保健福祉士として、患者さんが地域で「普通」に生活が送れるように少しでも力になればと思っています。

医療ソーシャルワーカー 小林 雄太

## エキスパートナース紹介

Part.9

救急看護認定看護師の三上です。私は、平成25年4月に日本看護協会 看護研修学校 認定看護師養成研修 救急看護学科に入学しました。東京都清瀬市にある研修学校には、ナイチンゲールローズという真っ白な薔薇が咲いていました。1年間の研修を無事に修了し、平成26年3月卒業、同年7月に救急看護認定看護師となりました。

市立釧路総合病院では救急外来に所属し、救急患者さんと向き合う毎日を送っています。当院は、道東で唯一の三次救命救急センターを担っており、ドクターヘリ基地病院でもあります。命の危機にある患者さんに最大限の医療資源の提供と、患者さんや家族に対してできる限りの説明責任を常に考えながら行動しなければなりません。近年、ドラマなどで救命救急に対しての派手なイメージがぬぐえませんが、患者さん一人一人を考えられる看護師でありたいと思っています。また、救急外来では、救急車搬送の患者さんと時間外受診の患者さんを受け入れています。

患者さんの中には、医療介入ではなく介護介入が必要な患者さんや、まず生活環境を整える事が優先される患者さんもいます。医療介入が必要なく、帰宅可能と医師が診断した患者さんでも、独居であったり老々介護であったりと帰宅した後の生活を考えると、帰宅させることに苦渋することがあります。その時は、医療連携相談室や地域包括支援センターへ連絡し調整していただくことも多いです。

このように、救急外来看護師は命の現場から生活の場まで、幅の広い場面の中で常に患者さんを中心に看護を行っています。これからも、スタッフと協力し、様々な患者さんと向き合って最善の看護が提供できるように頑張りたいと思います。

救急看護認定看護師 三上 育子



## ごあいさつ



医療連携室室長・副院長

阿部 敬

早いもので夏至が過ぎ、ようやく気温も上がって参りました。皆様には日頃より大変お世話になっておりまして心より感謝申し上げます。

さて、当地におきましても医療をめぐる環境はなお依然として厳しいものがございます。とくに現場の人手不足など課題は山積しております。

このような中、安定した医療を提供して地域医療を守るためには、当地域全体での医療連携のさらなる充実が必須と存じます。

当院におきましても職員一同、日夜奮闘しているところではございますが、各機関の機能分担など現在の限られた医療資源の有効な活用に向けて、皆様には今後もより一層のご理解とご協力をよろしく申し上げます。

なお本号ではNICU 開設など小児科の取り組み、がんサロンの予定、救急看護認定看護師の近況などをお届け致します。

最後になりますが皆様のご健勝とご盛業を祈念申し上げます。

## 理念「信頼と満足の創造」

## 経営方針

- 十分な説明のもとに患者の意思を尊重し、患者中心の医療を行います。
- 地域完結医療を目指し、高度医療・救急医療を充実します。
- 地域医療を支援するため、病診連携を密にします。
- 心温かな質の高い医療サービスを実践するため、日々研鑽します。
- 良識と協調性のある医療人として、意欲と誇りの持てる職場環境づくりに努めます。



## 市立釧路総合病院 医療連携相談室

〒085-0822 釧路市春湖台1番12号

TEL(0154)41-6121・FAX(0154)41-6511



## 小児疾患における当院の動向について

副院長  
小児科所属長 足立 憲昭



皆様、こんにちは。市立釧路総合病院にて副院長、小児科所属長をしております足立憲昭です。私こと、医師免許を取って33年目、当院に赴任後19年目に入りました。

ここ数年間で当小児科の診療において、大きな変化がいくつかありましたのでご紹介致します。

1) まずは、NICU（新生児集中治療室）が創設されたこと。これまでも新生児未熟児の治療は行っていたのですが、昨年（平成26年）4月から病棟の改築工事が開始され、9月24日にNICUが完成しました。10月1日から1ヶ月間の試験運用期間を経て、11月1日に正式にNICUの認可が下り、以降本年4月までに716名の病児の治療を行っています。

根釧地区（中標津、標津方面も含む）でお産を扱う病院が激減しているのを受け、当院での分娩数は、平成22年度で704件だったのが、昨年度は904件と年々増加しています。それにつれてhigh-riskな妊娠や新生児の数も同様に増加しており、昨年度の全分娩中、high-risk児の占める割合は62%でした。今年度の分娩数は950件程度になる見込みです。

院内で出生した新生児だけではなく、他院で出生し生後の経過が思わしくない新生児（out-born）にも広く対応しなければならず、ドクターヘリを活用した当院へのベビー搬送も可能となりました。保育器や人工呼吸器はもちろん、低体温療法やNO吸入療法など、新生児を治療する上で欠か

せない設備も整いました。NICUのベッド数は6床ですが、現在までほぼ満床状態が続いています。これらの医療や看護に見合う人材育成が急務ですが、これも少しずつですが整いつつあります。

2) 2つ目の変革として平成26年4月から小児科外来において、軽度発達障がい（注意欠如多動性障がい、自閉スペクトラム症、学習障がいなど）や不登校、拒食症といった適応障がいなど、「発達」や「こころ」の問題をかかえた児童に対応する準備が整い、診療の幅が広がったことがあげられます。2名の臨床心理士が小児科外来に常駐し「心理カウンセリング」や「発達の評価」を行う一方で、毎月2日間、札幌医科大学から児童精神の専門医を招聘して「心のやまい」に対応しています。

3) 食物アレルギーの治療に関する考え方が最近大きく変化しています。以前行われていた「食べさせない」つまり食事制限を中心とした治療から、むしろ「食べさせる」治療へと、ほぼ180度変わりつつあります。これについては、諸家でいまだ異論や反論があるようですが、ひとつ言えることは「食べさせない」治療では食物アレルギーの克服は困難であるというのが私の持論です。

「特異的経口耐性誘導法（SOTI）」が、今から5年ほど前に紹介され、それを実践する病院がかなり増えています。その前段に行う「食物負荷試験」を当院でも小規模ながら行っています。これは卵などを子供に摂取してもらい、1日どの程度食べると症状がでるのか、その上限をきめるもので、外来でも実施できますし、日帰り入院というかた

ちでも可能です。幼稚園などで自分の誕生日に「自分だけケーキが食べられない」可哀そうな児童を減らそうというのがこの治療の主眼であり、家族が安心して食卓を囲むことができるようにするのがend-pointです。

以上、当院小児科での最近の変化についてご報告させていただきました。細かく挙げると、まだまだ色々変化はあるのですが、紙面の都合上割愛させていただきました。ご一読いただいた方々に感謝の意を表します。

## がんサロンのご案内

予約は不要ですので  
どうぞお気軽にご参加ください



当院では、下記の日程でがんサロンを開催しております。患者さんやご家族など同じ立場の方が、がんの事を気楽に語り合う場です。看護師や栄養士、歯科衛生士からのミニ講座と実演や試食会も企画しています。また、緩和ケア推進週間に向け、緩和ケア担当医より講義を行った後で、参加された方々と意見交換や情報交換を予定しています。予約は不要ですのでどうぞお気軽にご参加ください。

## 市立釧路総合病院 がん患者サポートサロン さんきゅうカフェのご案内

がん患者さんやその家族の方が交流する場所です。

悩みや不安な気持ちをみんなで分かち合いませんか？

※個人の気持ちや意見を尊重します。お互いのプライバシーや個人情報を守ります。特定の治療の普及を目的とするものではありません。物品の販売や宣伝、特定の宗教の勧誘をするものではありません。

日時・場所	内容	
6月27日(土) 10時～12時 1階 栄養相談室	放射線治療と身体の変化	副作用を最低限にするために
8月22日(土) 10時～12時 1階 栄養相談室	抗がん剤のお話し	副作用・日常生活に注意する点など
9月13日(日) 10時～15時 2階 講堂	*女性限定	乳がん術後の下着について無料試着・相談会
10月3日(土) 10時～12時 1階 ホスピタルホール	緩和ケア推進週間に向けて	緩和ケアってなんだろう？ 緩和ケア担当医師より口話
11月14日(土) 10時～12時 精神科棟1階 デイケアルーム	食欲が低下しているときの食事療法	栄養管理士による調理実習と試食会
1月16日(土) 10時～12時 1階 栄養相談室	歯科衛生士より	大切な口腔ケアについて
3月12日(土) 10時～12時 1階 栄養相談室	情報交換会など	

問い合わせ先：市立釧路総合病院 医療連携相談室  
TEL：0154-41-6121(内線1314)【月～金曜日/8:30～17:00】